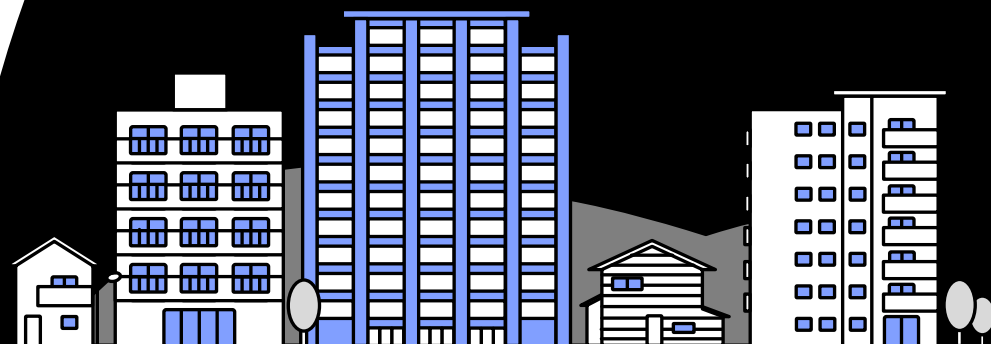


福島市のまちなかの動きについて

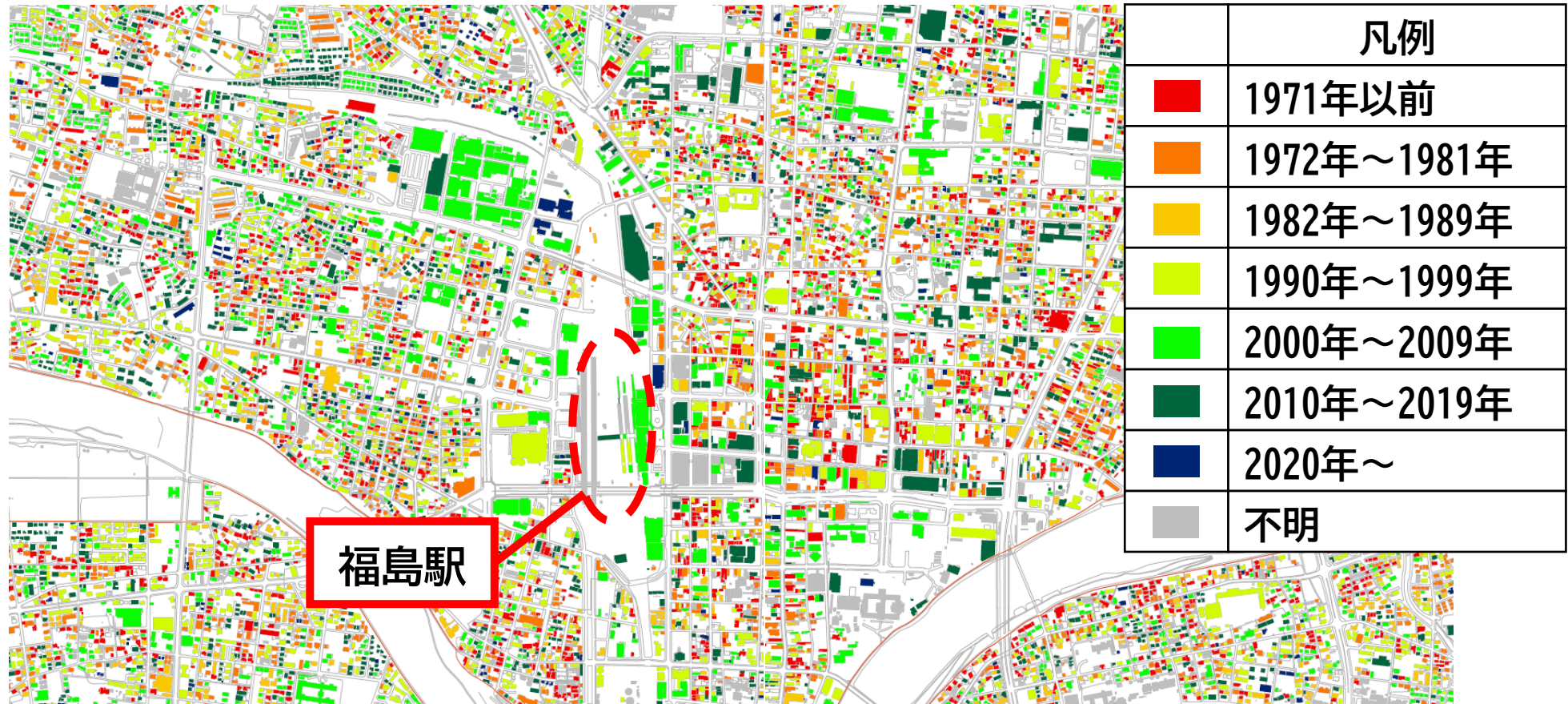
福島市都市政策部都市計画課



1 まちなかの現状

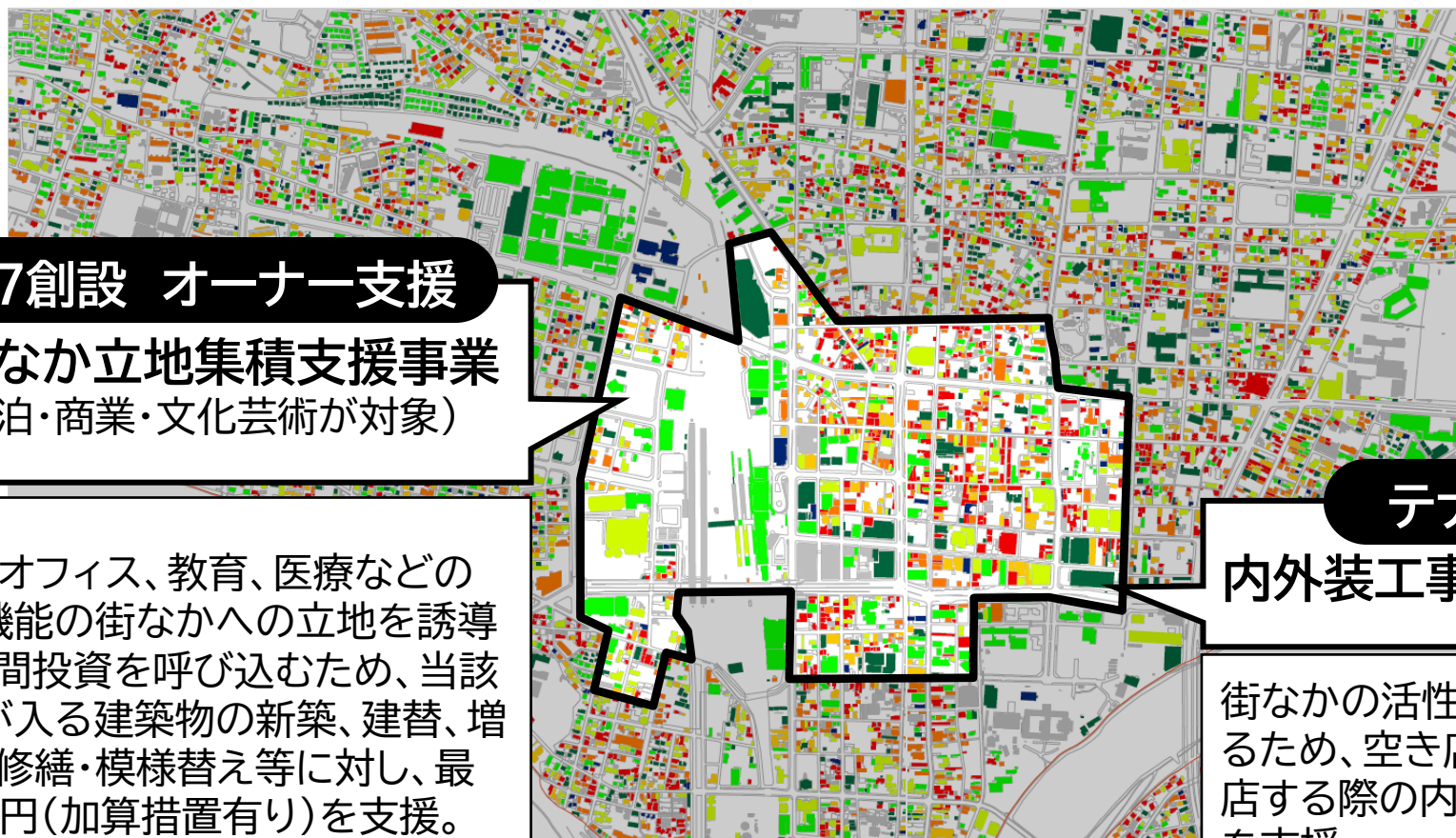
建物の老朽化

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)



※福島市都市計画基礎調査(2024)より

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)



	凡例
■	1971年以前
■	1972年～1981年
■	1982年～1989年
■	1990年～1999年
■	2000年～2009年
■	2010年～2019年
■	2020年～
■	不明

R7創設 オーナー支援

まちなか立地集積支援事業
 (※宿泊・商業・文化芸術が対象)

商業、オフィス、教育、医療などの都市機能の街なかへの立地を誘導し、民間投資を呼び込むため、当該機能が入る建築物の新築、建替、増改築・修繕・模様替え等に対し、最大1億円(加算措置有り)を支援。

テナント支援

内外装工事等支援事業

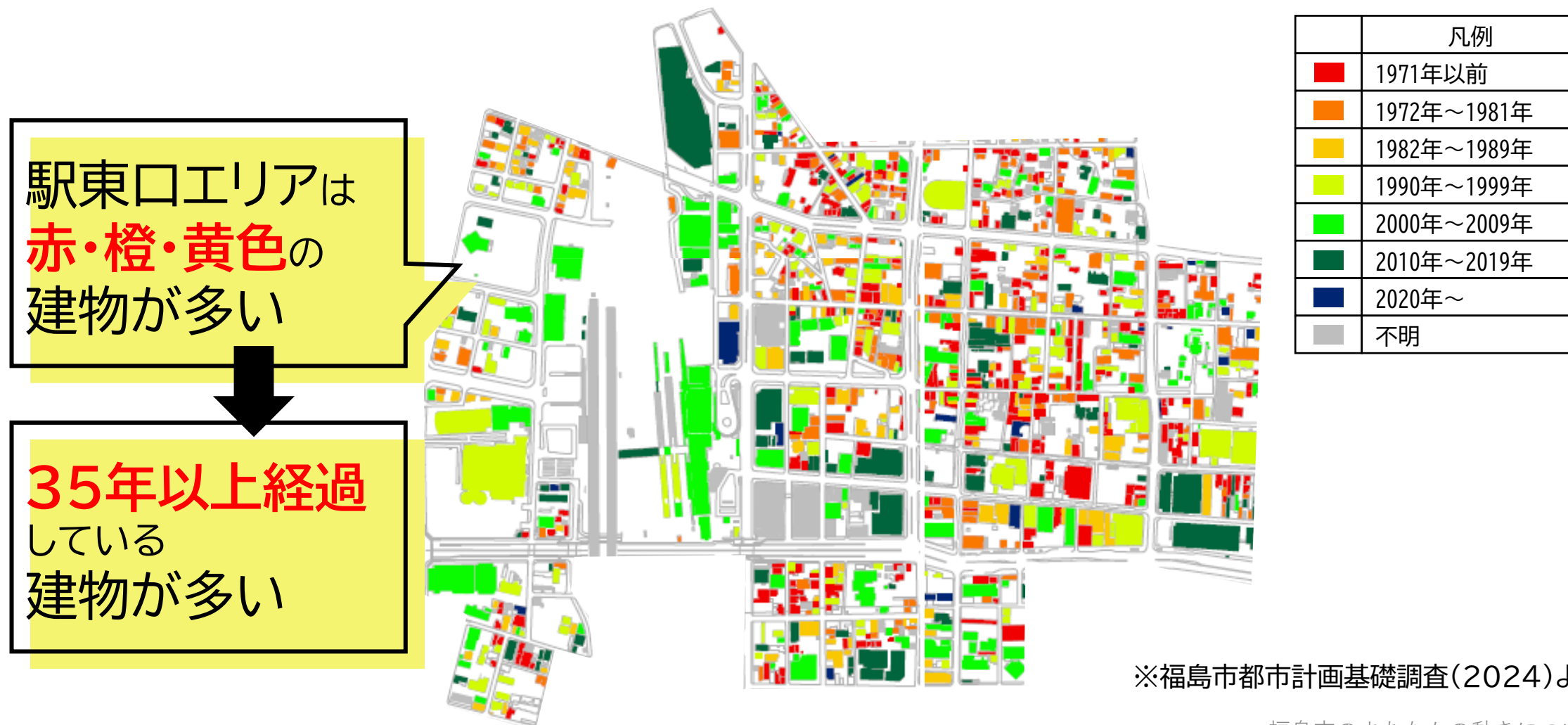
街なかの活性化と賑わいを創出するため、空き店舗等を利用して出店する際の内外装工事費等の一部を支援。

※福島市都市計画基礎調査(2024)より

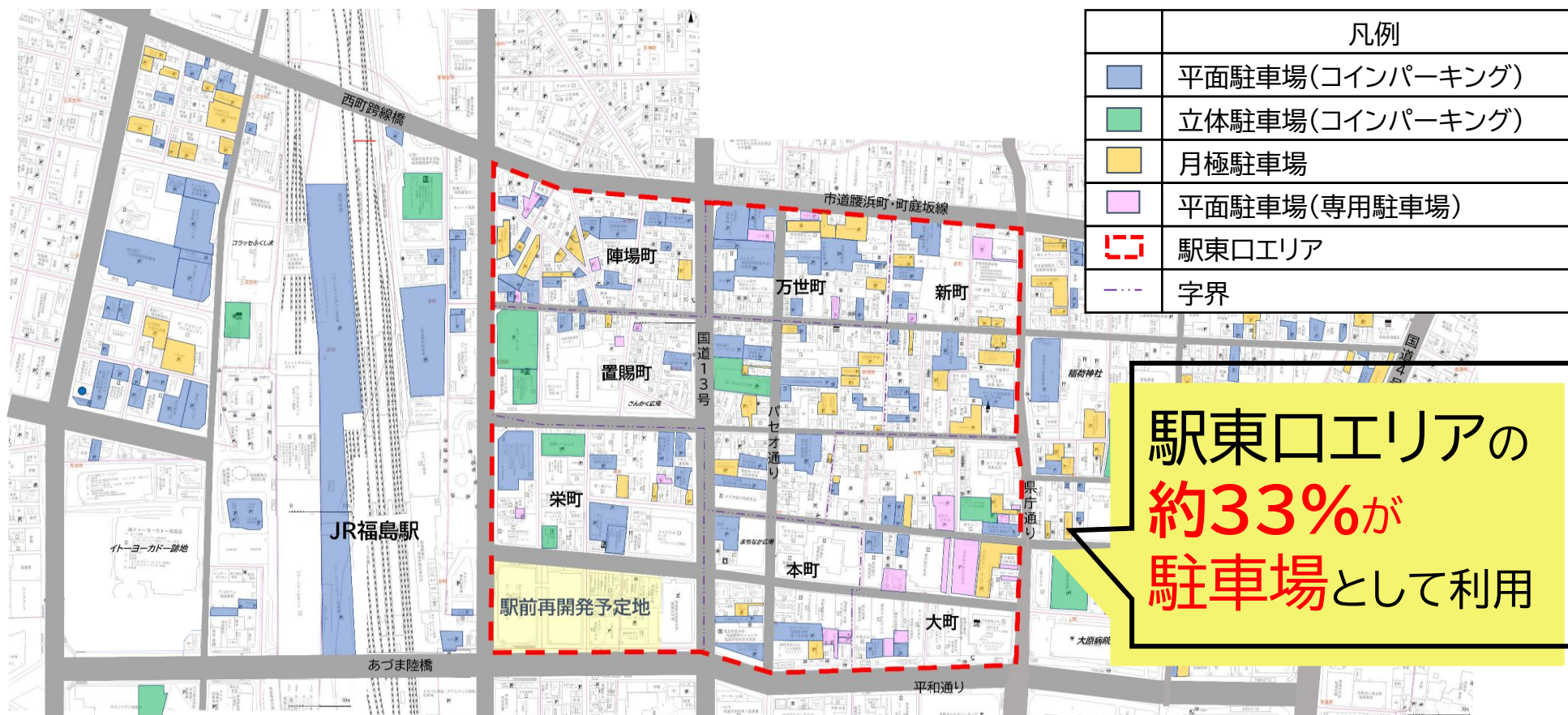
1 まちなかの現状

建物の老朽化

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)



福島市中心市街地の駐車場実態(2024年6月時点)

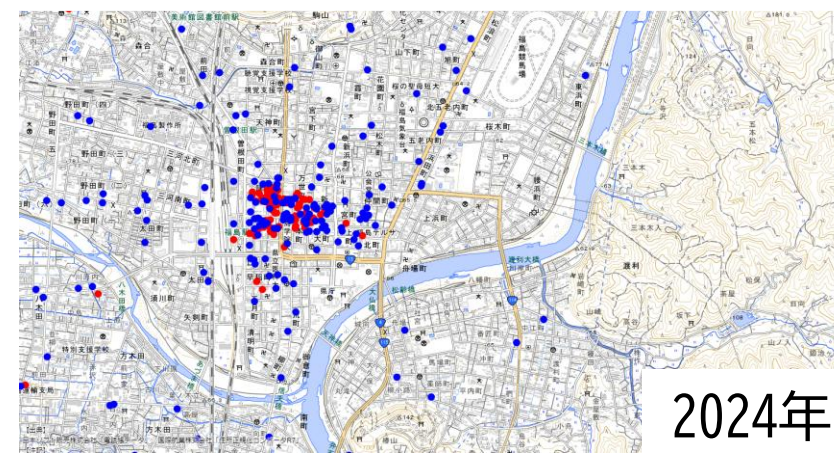
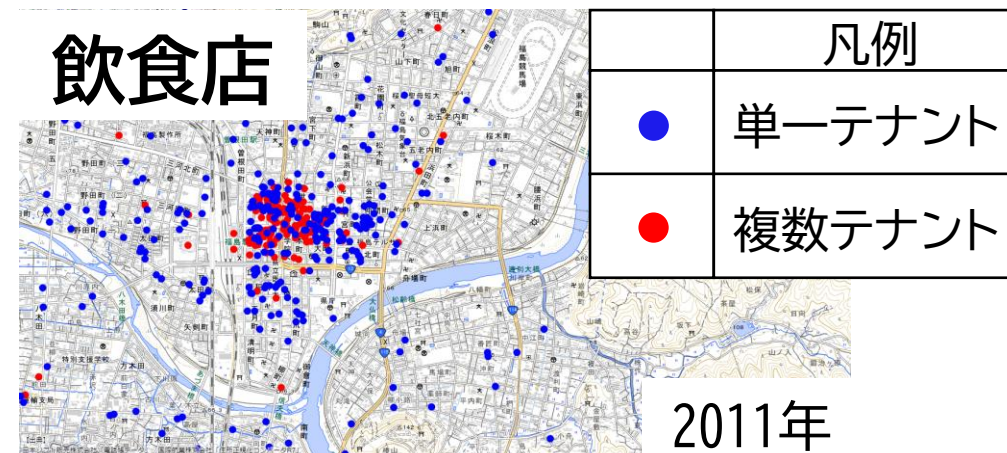
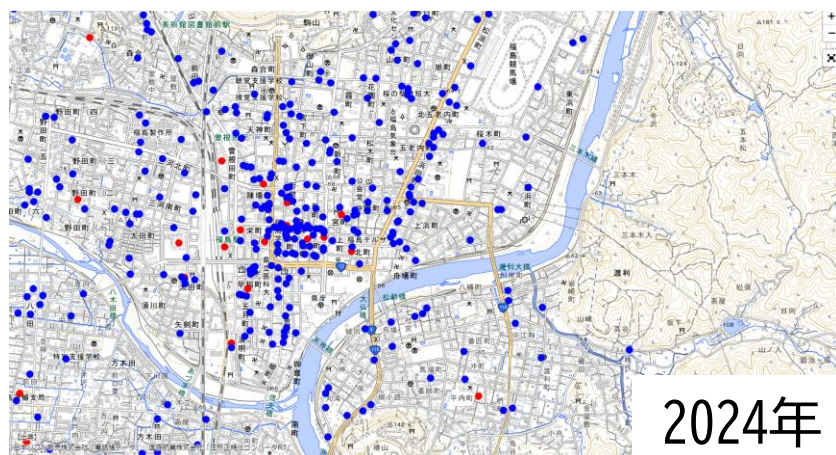
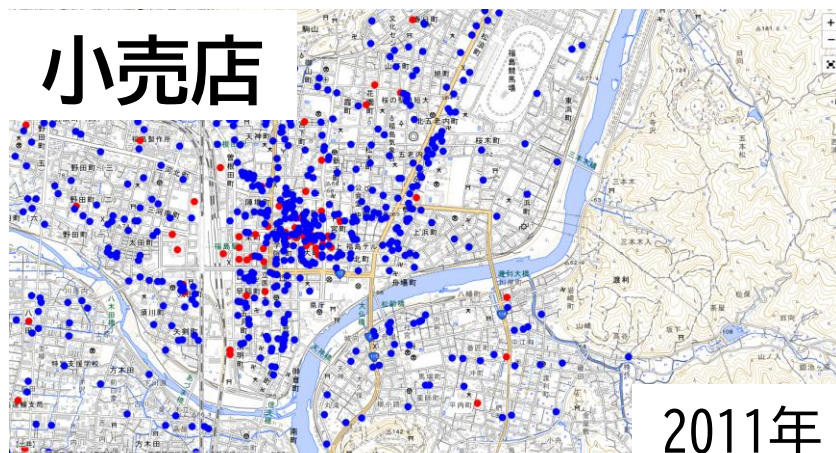


※2024年6月に実施した低未利用地調査より

1 まちなかの現状

事業所数の減少

福島市中心市街地に立地する事業所の分布

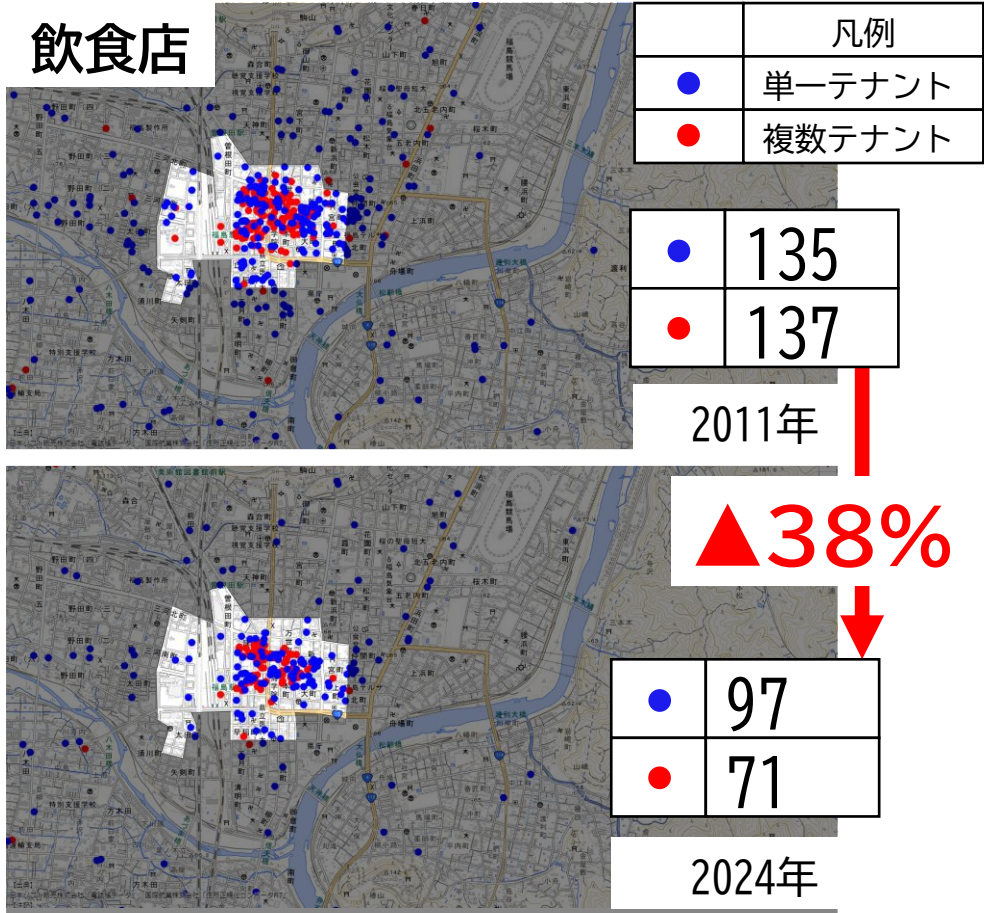
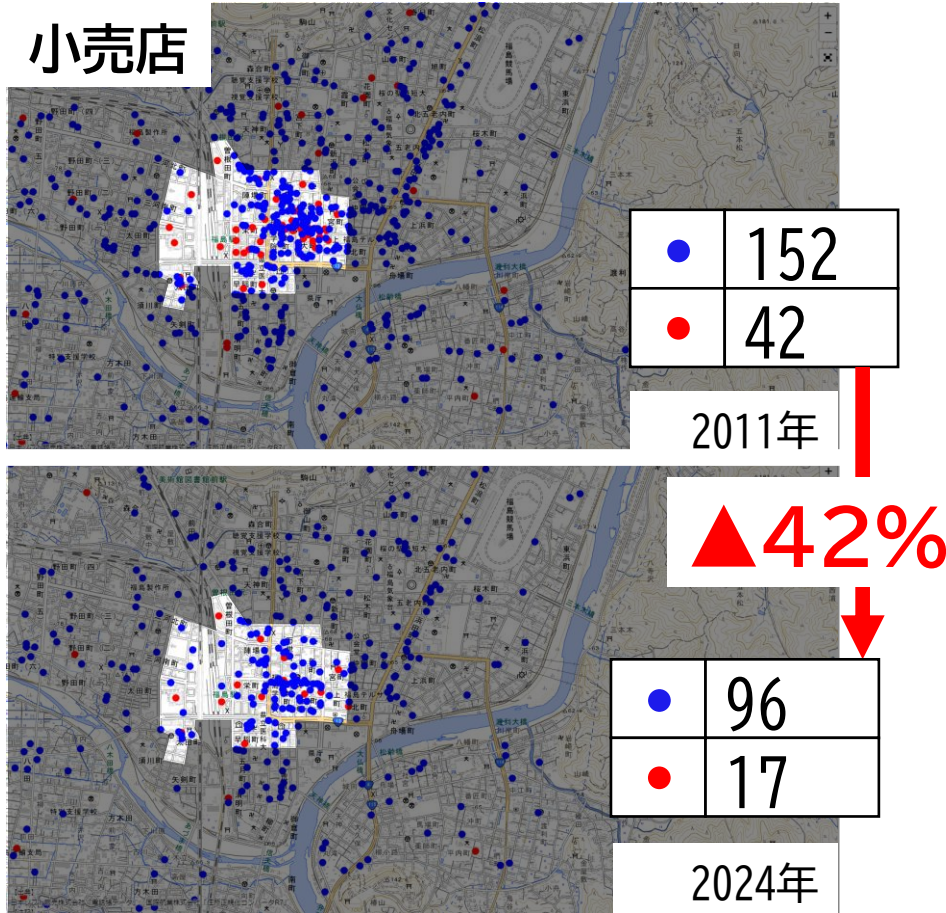


※RESAS 事業所立地分析より

1 まちなかの現状

事業所数の減少

福島市中心市街地に立地する事業所数(ウォーカブル推進区域内)

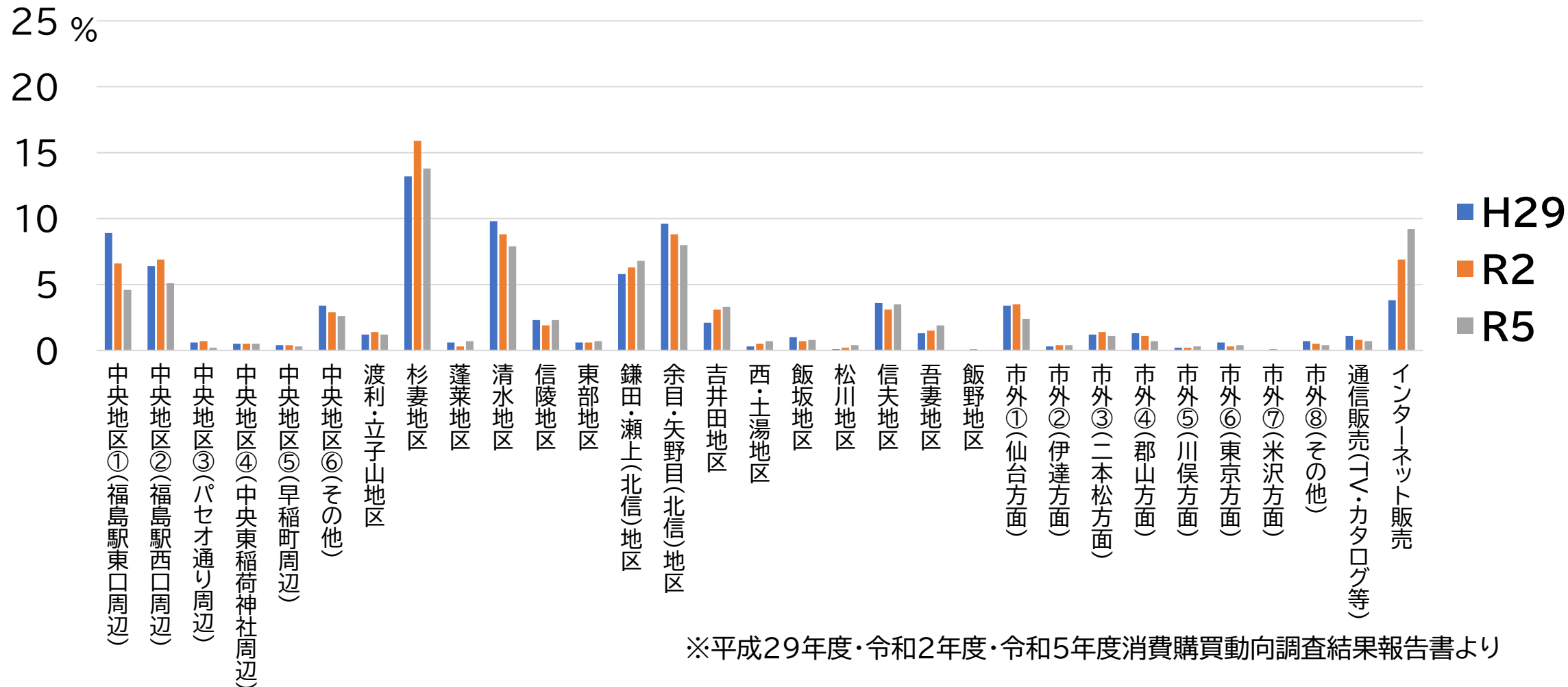


※RESAS 事業所立地分析より

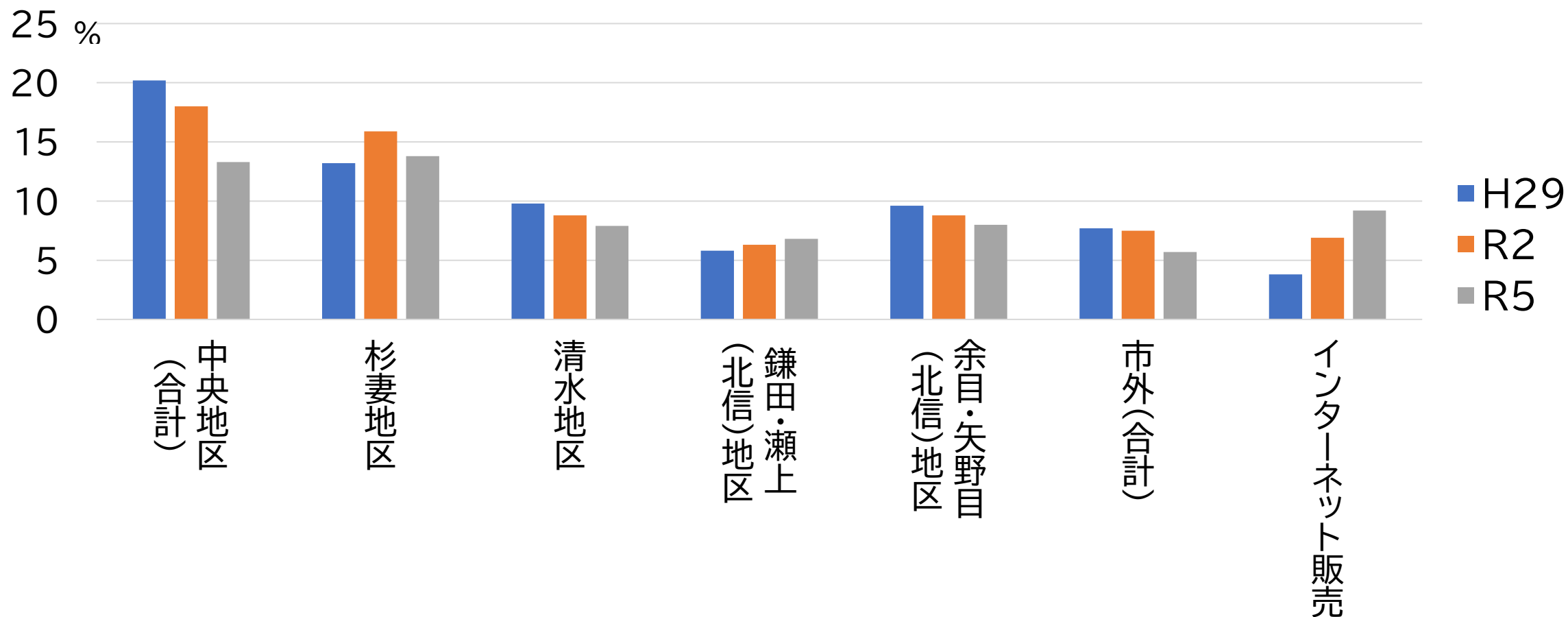
1 まちなかの現状

買い物場所の変遷

福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)

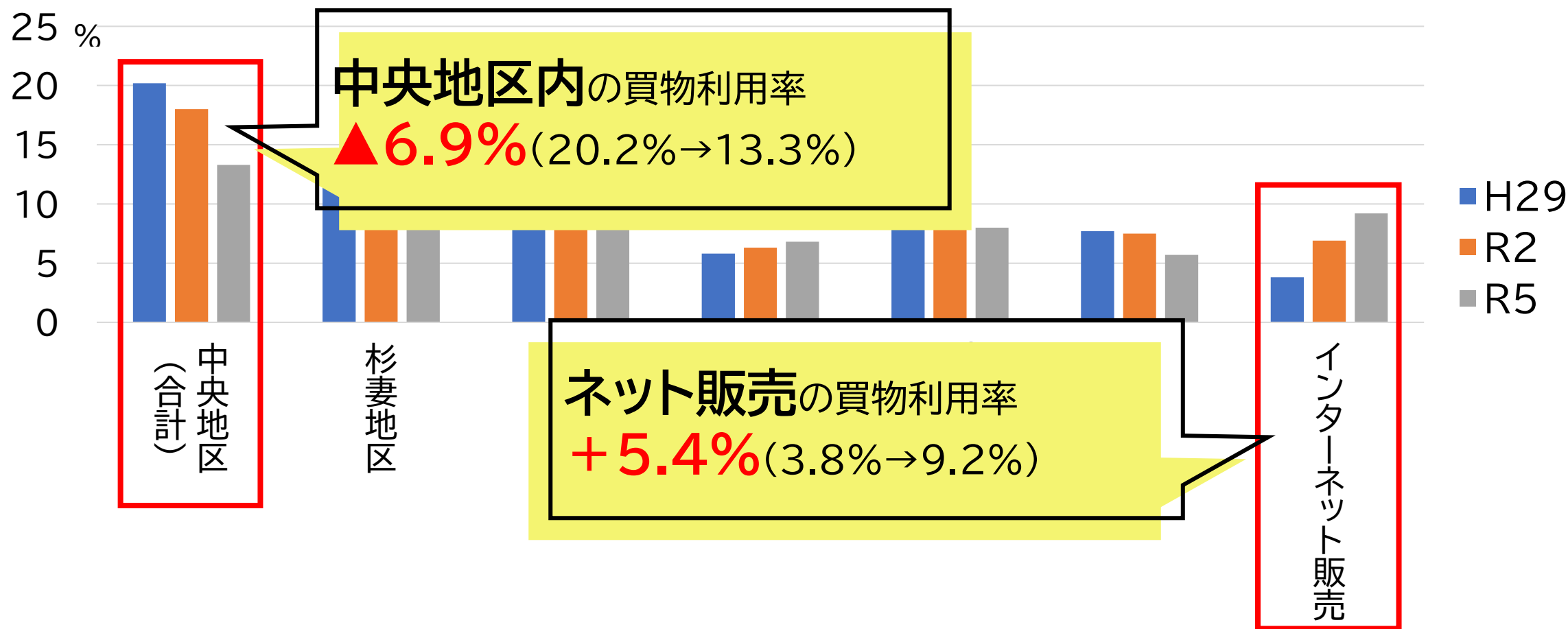


福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)



※平成29年度・令和2年度・令和5年度消費購買動向調査結果報告書より

福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)

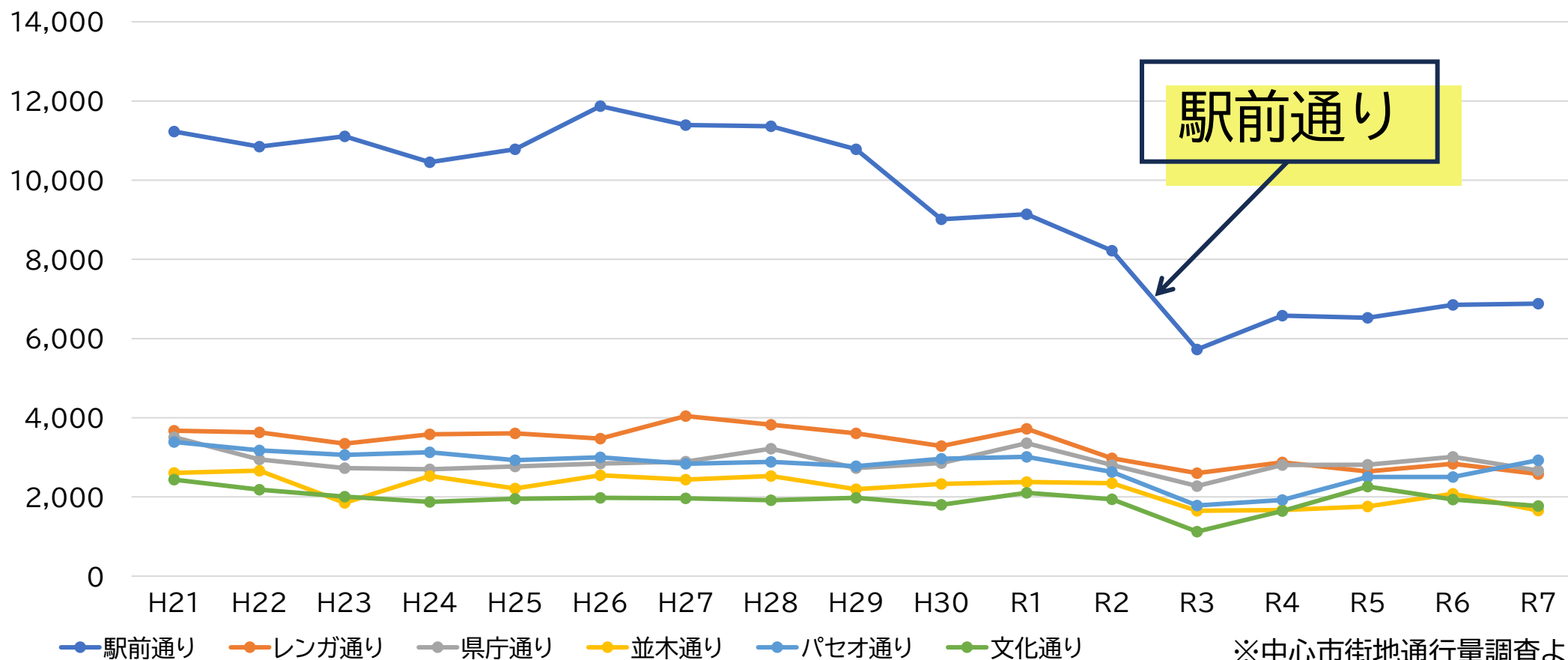


※平成29年度・令和2年度・令和5年度消費購買動向調査結果報告書より

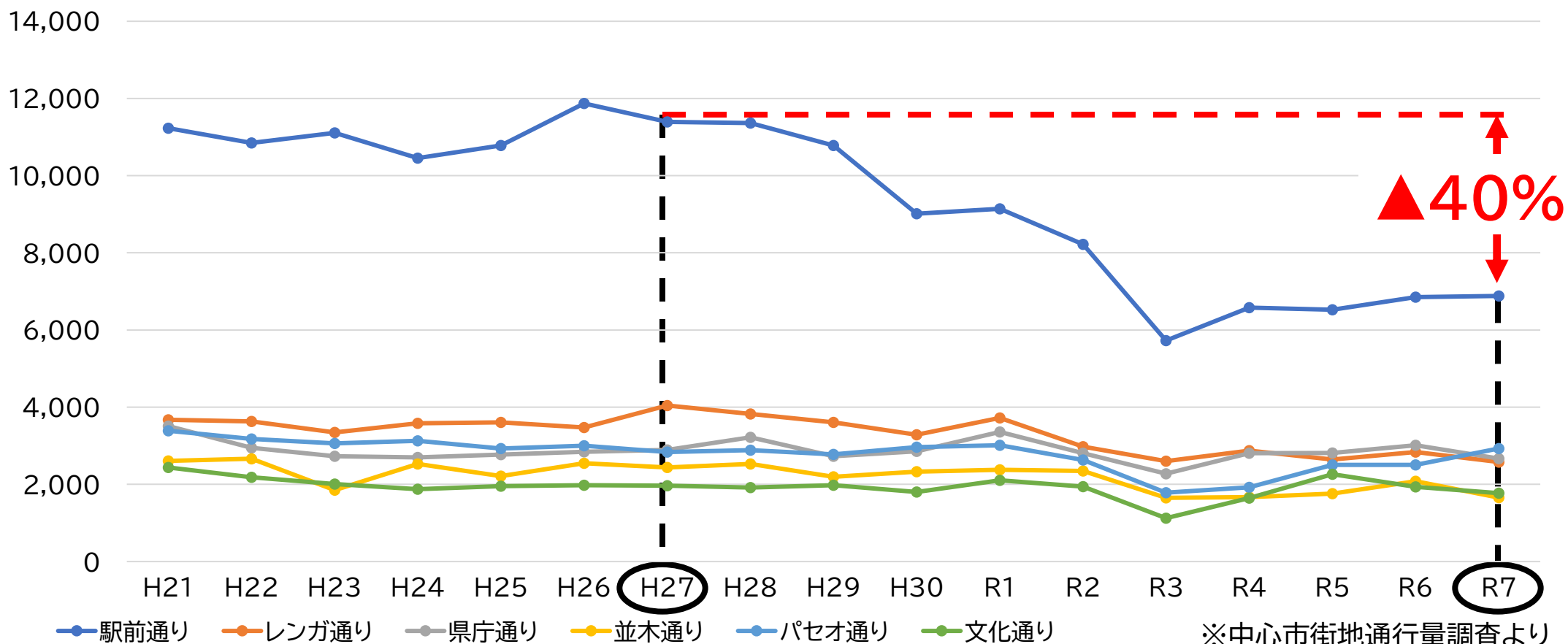
1 まちなかの現状

通行量の減少

中心市街地の平日の通行量(6調査地点の推移)



中心市街地の平日の通行量(6調査地点の推移)



- 建物の老朽化が進んでいる
- 駅東口の土地は約3割が駐車場
- 小売店や飲食店の事業所数は約4割減っている
- まちなかで買い物する人が減り、
ネットで買い物する人が増えている
- まちなかの通行量は10年で約4割減っている

- ① 土地利用の密度が低下
- ② 消費行動の中心が、「まちなか」から「オンライン」へ移行
- ③ まちなかの購買力・集客力の低下

体験・魅力のあるまち

新しい出会い・交流

このまちに出かけること
そのものが楽しい！

行ってみたい！

居心地が良く
あるきたくなるまちへ

- ① 土地利用の密度が低下
- ② 消費行動の中心が、「まちなか」から「オンライン」へ移行
- ③ まちなかの購買力・集客力の低下

体験・魅力のあるまち



新しい出会い・交流

このまちに出かけること
そのものが楽しい！

行ってみたい！

事業者・市民のアイディア・創造力で、
公共空間を舞台に新たな魅力とにぎわいを育てるまちづくりへ

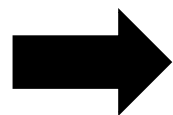
■「まちなかウォーカブル推進事業」をはじめます。

ウォーカブル

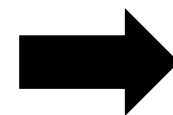
＝“歩きたくなる、つい立ち止まってしまうような、居心地のいい空間”



通過しなかった人



通過する人



滞在する人

小さいことから、気軽に、描いてみる

